



丸木記念福祉 メディカルセンター



記念式典の様子



◆ 薫風園開設20周年記念式典を開催

平成30年11月17日（土）、さわやかな秋晴れの中、複合施設薫風園20周年及びくらしワンストップ MORO HAPPINESS 館開館1周年記念式典が、埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホールにおいて行われました。

会場には、地元の民生委員や区長、連合寿会、ボランティアの方々を始め、国会議員、県議員、近隣市町長、毛呂山町町長や町会議員の方々など、約700名もの皆様がお越しくださいました。

式典では、始めに丸木清之理事長より、複合施設薫風園を開設するに至った経緯を当時の時代背景と共に説明し、地域の皆様と歩んできたこれ迄の20年を振り返った後、これから丸木記念福祉メディカルセンターが、毛呂山町を始め、近隣市町村の広域的な地域包括ケアシステムの中心を担うことに触れ、1周年を迎えた MORO HAPPINESS 館の重要な役割について話されました。

来賓の方から祝辞を頂いた後には、スクリーン上映にて、薫風園の20年間の歩みについて毛呂病院創立からの歴史を振り返りました。さらに MORO HAPPINESS 館における在宅医療の取り組みや、健康いきがづくり事業の報告があり、関連団体への表彰の後にはメゾ・ソプラノ歌手の林美智子さんによる記念コンサートが行われました。

丸木記念福祉メディカルセンターでは、2022年の開設130周年に向けて、医療と福祉の理想郷の実現を目指し取り組んで参りますので今後ともよろしくお願いたします。

◆ 複合施設薫風園及び くらしワンストップ MORO HAPPINESS 館開設までの歩み

昭和60年代から日本は世界で経験したことのない超高齢社会の時代を迎えました。

特に埼玉県は、都道府県一の速さで高齢化が進んでおり、不安な状況が増していました。

丸木清浩名誉理事長は、生前に「医療・介護・福祉の制度は、縦割りでなく、一体で取り組まねばならない」との強い信念で、平成6年より、日本初となる高齢者複合施設薫風園を開設する準備を始め、平成10年5月に開設しました。その後、高齢化を取り巻く要請に応え続け、病棟や施設の再編成などに取り組み、この度、地域の皆様のご支援のおかげをもちまして、20周年を迎えることが出来ました。

団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」の時代を見据え、名誉理事長は医療・介護・福祉を一元的に解決できる、地域社会の支え合いの場が必要と考え、これを自身が手掛ける最後の仕事にするという情熱のもとに、平成27年よりMORO HAPPINESS 館の開設準備が始まりました。

名誉理事長の想いは丸木清之理事長に引き継がれ、平成29年10月、くらしワンストップ MORO HAPPINESS 館は開設しました。

MORO HAPPINESS 館では、2つの法人がワンフロアで隔てなく利用者様の為に勤務する日本初のシステムで、多職種連携を基本に、在宅医療の拠点として、医療・介護・福祉のあらゆる相談に一元的な対応を行っています。

今後とも、Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS の精神で、医療・介護・福祉サービスの提供を行ない、地域包括ケアシステムをリードしていく決意です。



◆職員からのメッセージ

医療安全管理室 雨宮 弥生

私は薫風園の当時の内科病棟へ平成 13 年から勤務させていただき、当初は、肺炎や褥瘡を保有されています高齢者様へのケアに情熱を注いでいたことを思い出します。経験の未熟な私は、高齢者看護について患者様やご利用者の方から、様々な事を直接教えて頂きました。そんな中、薫風園の魅力を感じ始めました。7 階 8 階ケアハウスに入居されている方が、突然、体調不良になり、1 階の外来を受診する。必要に応じて大学病院へ紹介する。もしくは、当センターへ入院する。とても手厚い連携だと感じました。大学病院の連携施設だからこそ薫風園の魅力だと思います。また、「薫風園 10 周年記念式典」の際には、丸木名誉理事長から、貴重な体験をするときは、「ワクワクした気持ちで望みなさい！」職員を激励して笑顔にして頂いた事は忘れません。高齢者にとって適切な支援は、難しいことですが、超高齢者社会に求められる医療人としての誇りと感謝の気持ち、ワクワクする気持ちを学べていることは、私の財産です。



栄養部 平野 孝則

薫風園開設 20 周年誠にありがとうございます。社会福祉法人毛呂病院薫風園は、日本初の医療、介護・福祉の高齢者複合施設として 1998 年（平成 10 年）5 月に開設しました。そして、法人内の施設利用者・患者様の健康、栄養・食事を支える厨房も同時にオープンしました。薫風園の構想に法人の厨房設置が検討されて、丸木多恵子準備委員長をはじめ、埼玉医大栄養部部長等が準備委員会に関わり 2 階に厨房が完成しました。薫風園の厨房は、1 回 1,000 食以上になることもあり、埼玉医大グループで初となる業務委託を行い、栄養管理・栄養指導等をはじめ受託側従業員の指導をすることになりました。ケアハウスでの毎食の選択メニュー、屋上でのビアガーデンのほか、各施設へのバイキングやラーメン出張サービスの導入など、食事サービスの向上や栄養管理、栄養指導の充実に努めてきました。これからも Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS をミッションとして医療・介護の理想郷を目指し貢献して行きたいと思っております。

介護老人保健施設 事務 野口 和美

あっという間の 20 年でした。日本初の複合施設薫風園が誕生してから勤務させていただいています。振り返ると、「生まれたばかりの薫風園をどんな風に育てていくかは、君たちスタッフ次第！」と丸木名誉理事長がおっしゃってから成人を迎えるまで、時代のニーズに応えながら変化をして 20 年目です。当初は、私も含めて若いスタッフが多く、そんな中でも、ご利用者様中心の考えは、今も変わっていません。仕事に一生懸命のあまり、同僚同士で、忙しいという字は、心を亡くすと書くから、忙しくても「やさしさと思いやり」を忘れないようにしようと思いを思い出します。ご利用者様の笑顔を見ると、活気に溢れる職場があるからこそ、薫風園がご利用者様のニーズに応えていることを実感いたします。また、丸木センター長、大道施設長が、全スタッフの名前を覚えて、直接ご指導して頂けることは、励みになると同時に深い思いやりと大きな愛情を感じます。

